

公益財団法人東京防災救急協会第15回理事会議事録

1 会議の概要

- (1) 開催日時 平成25年3月13日(水) 11時から11時53分まで
- (2) 場 所 スクワール麹町5階会議室 東京都千代田区麹町六丁目6番地
- (3) 理事総数 27名
- (4) 定足数 14名
- (5) 出席した理事数及び氏名 24名
理 事 長 関 口 和 重 副理事長 佐竹 哲男 専務理事 野口 英一
理 事 荒井 伸幸 理 事 有賀雄一郎 理 事 大花 成彦
理 事 小川紘一郎 理 事 尾世 敏彦 理 事 片岡 俊彦
理 事 川島 毅 理 事 國吉 昌良 理 事 窪田 俊治
理 事 島崎 修次 理 事 嶋田 昭平 理 事 鈴木 陽二
理 事 関口 憲一 理 事 辻 正太郎 理 事 野中 博
理 事 東尾 正 理 事 藤本 慎誠 理 事 古谷 聡
理 事 丸山 裕弘 理 事 村上 研一 理 事 山川 浩之
- (6) 出席した監事数及び氏名 2名
監事 飯塚 隆雄
監事 尾崎 研哉
- (7) 議事等
常勤役員報告
第1号議案 平成25年度事業計画について
第2号議案 平成25年度収支予算について
第3号議案 基本財産の運用について
第4号議案 第15回評議員会(6月期)の招集について
第5号議案 事務局長の任免について
報告事項 第16回理事会(6月期)及び臨時理事会の開催予定について
- (8) 議長
理事長 関 口 和 重

2 会議

(1) 会議の運営等

伊藤省二事務局長から、次の内容について報告した。

ア 定款第32条に基づき、理事会の議長は理事長が当たる。

イ 理事現在員27名のうち、出席理事24名、欠席理事3名であり、理事の出席人数は、定款第33条第1項に基づく過半数を満たしている。また、議案に関し特別な利害関係を有する理事はいない。

ウ 理事会の議事については、定款第34条第1項に基づき、議事録を作成する。

この議事録には、定款第34条第2項に基づき、出席した理事長及び監事が記名押印

する。

(2) 議事の経過の要領及びその結果

定刻、理事長が議長席に着き、本理事会は定款第33条第1項に定める定足数を満たしており、成立していることを告げ、報告の聴取と議案の審議に入った。

ア 常勤役員職務執行状況の報告

(ア) 関口和重理事長の職務の執行状況

- ・ 平成24年度の協会の運営は、効率的な業務執行と健全な財務管理に努め、公益目的事業を中心に順調に執行した。
- ・ 昨年暮れに、新都知事の意向を踏まえ、ツイッターやフェイスブックを立ち上げ、協会ホームページリニューアルを行うなど、新年度に入っても、都民への情報提供を積極的に行う。
- ・ 救命講習については、東京消防庁、東京都福祉保健局、東京都医師会や理事の皆様のご理解やご協力を得て、順調に増加している。
- ・ 新規事業として、グループホームの職員を対象とした「小規模社会福祉施設の防火管理実務講習」を実施する。
- ・ また秋には「国際消防防災展2013」に参加し、都民に対し防火、防災及び救急に関する普及及び啓発を図る。
- ・ 更に、大規模事業所における効果的な救助・救急講習を実施するため、講習科目や教科書及び教材等について、調査研究を実施する。
- ・ これらの事業執行にあたっては、社会環境を的確に把握し、常にスピード感を持って、各事業が効果的に実施する旨を報告した。

(イ) 佐竹哲男副理事長(統括本部長・防災事業本部長)の職務の執行状況

- ・ 平成25年度の組織は、昨年度から事業開始している東京都荏原搬送センター運営の要員21名と「小規模社会福祉施設の防火実務講習」の要員4名の合計25名の定数増員に伴い、職員総数334名で事業執行していく。
- ・ 平成25年度予算編成は、東京都職員給与等にならい、協会職員の給与費も総額で約3千万減額となるが、公益目的事業費の増額により昨年度とほぼ同額の予算となった。
- ・ 収支は、約1億1千万円のマイナス予算になるが、特定費用準備資金として積み立てた、国際防災展費用3千万円の取り崩し、講習テキスト印刷のうち次年度分3千万円を計上したことにより増となったもので、実質的には約5千万円の赤字予算になる。
- ・ 新規事業として、都民へ発信する防火防災情報の充実を図るため、防火・防災に係る素材映像や教育動画を整備し、映像ライブラリー整備事業を開始する。
- ・ 平成24年度事業の執行状況については、防火・防災管理講習をはじめとする各種受講者数が前年度比約3,000人減となる見込みでこれは、景気の低迷により事業所が減少し、資格取得者が減少していることに起因しており、今後経済状況の動向に配意し、的確に対応する。
- ・ 博物館・防災館への来館状況は、経営目標であります46万人に対し、約1万6千人増の47万6千人の来館を見込んでいる。
- ・ 平成24年度の調査研究事業の「厨房ダクト火災に係る調査研究」は、映像が完成

したので、後程ご覧いただくことを報告した。

(ウ) 野口英一（救急事業本部長）の職務の執行状況

- ・ 平成24年度の救命講習受講者数は、現在、対前年比、約4%増の20万人に達しており、経営目標を超えることが予想される。
- ・ 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会委員長の帝京大学医学部坂本教授を委員長とした、教科書作成委員会を開催し、救命講習指導者用のテキスト及び視聴覚障害者用の救命講習教材を作成中である。
- ・ 搬送事業は、現在、虎ノ門センターで入院通院等に使用する民間患者搬送事業、都立府中小児医療センターにおけるドクターカー、そして荏原センターにおける精神患者搬送事業を行っており、平成24年度合計で2,000件を超える搬送があった。これらの搬送事業は、当協会の受託している事業であり、職員の経験等が評価され、着実に信用を得ている。
- ・ 理事長から話があった新規事業で大規模事業所における防災・救急に関する企業の社会的責任として、社員の救助救急技能の向上等について、何が必要で何が協会として取り組めるのかを調査、研究を行っていく。
- ・ 当協会救命講習の継続的な情報提供と、地域の救命の輪を確保するため、アプリを活用し双方向性のある情報体制の整備を行う。

以上、常勤理事3名の報告について質問等がなく了承された。

イ 第1号議案 平成25年度事業計画について

ウ 第2号議案 平成25年度収支予算について

議長から第1号議案と第2号議案は密接な関係にあることから一括して審議する旨の発言があり、事務局長が第1号議案の提案理由及び資料を、続いて、滝川経理課長が第2号議案の提案理由及び資料を説明した。

第1号議案、第2号議案について議長が賛否を諮ったところ、東尾正理事から「副理事長職務状況報告で、平成25年度の職員が21名増で総計334名との報告があった。この厳しい状況の中で職員的大幅増となった経緯等の説明を求める。」との質問があり、副理事長が「東京都からの受託事業に伴う21名の増員になったものである。」ことを説明し了承された。

エ 第3号議案 基本財産の運用について

本議案について、議長から事務局に説明を求め、事務局長が提案理由及び資料を説明した後、第3号議案について議長が諮り、本件は原案通り異議なく全会一致で決定した。

オ 第4号議案 第15回評議員会（6月期）の招集について

本議案について、議長から事務局に説明を求め、事務局長が提案理由及び資料を説明した後、議長が諮り、本件は異議なく全会一致で決定した。

カ 第5号議案 事務局長の任免について

本議案について、議長から事務局に説明を求め、事務局長が提案理由及び資料を説明した後、議長が賛否を諮ったところ、全員異議なく承認した。

キ 報告事項 第16回理事会（6月期）及び臨時理事会の開催予定について

本報告事項について、議長から事務局に説明を求め事務局長が報告内容を説明した。

11時53分、議長は審議を終了したので、閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名押印する。

平成25年3月13日

議 長 理事長 関 口 和 重

議事録署名人 監 事 飯 塚 隆 雄

議事録署名人 監 事 尾 崎 研 哉